

1. 勉強ができない子へのNGワード
2. 活動報告・8月イベント
3. コラム (#進路系)
イチロー選手のから学ぶ、
勉強に納得して向き合いたくなることば
4. 知っておきたい入試用語



JOBA蘇州校
[こちら](#)からアクセス



JOBA本部
蘇州校の皆さまも参加可能な
[オンラインイベント](#)多数

SUZHOU通信

子どもが『自分は認められている』と実感できる機会・場面を、意識してたくさん創出する

勉強ができない子へのNGワード

-先生、やる気を出すにはどう声掛けしたらいいですか？-

勉強やスポーツ、ダイエット、筋トレ...何に対しても「やる気」「モチベーション」「集中力」は継続するため、次のステップに進むためには必要不可欠です。それは大人も子どもも同じことで、「(やらなければいけないと)頭で分かっているけど、行動できない」。そう思うと、できていないことに目がいきま、目標を先延ばしにしたり、目を背けてしまったり...負の連鎖が続きます。今月は、この点を「勉強」にフォーカスして〈やる気を促す声掛けや考え方について〉、保護者のとるべき行動を考えてみたいと思います。

子どもがやる気を発揮するのは「好きなこと」だけ

勉強にとりかかるまでに時間がかかる。机に向かっても、すぐに集中力を切らして遊び始めてしまう。

一部の「成熟度の高い、自律した子ども」をのぞいて、この悩みを持たない親は皆無といってもいいでしょう。一方で、「やる気がない」といいますが、**やる気のある・なしは本来、親が判断することではありません**。「理想の勉強する子」を夢見ているだけのこと。実際、お子さんがダラダラしているのであれば、やる気はあまりなく、その姿をみて「勉強しなさい！」と雷を落としたくなる気持ちはよくわかります。でも、ここでいったん深呼吸して、原点に立ち返ってください。

そもそも、「塾に通いたい」と言い出したのはお子さんですか。あるいは、本人が「塾に行きたい」と言っても、そのように誘導したのが親ではないですか。さらには、本人に「塾に行きたい」という強い意志があっても、それが行動につながるかどうかは別問題です。「勉強」は**知的欲求があり、ゲーム感覚で楽しめる子でない限り、やはり辛**



今月の一枚
地元、愛媛県の小学校の体育館で汗を流してきました

いものです。

この大前提にのっとりたうえで、**机に向かっているだけでもほめてあげてください**。頭でわかっているけど、行動に移すのが難しいのは大人とて同じ。10歳前後のお子さんにとってはなおさらです。

NG:なぜ覚えたことをすぐに忘れるの？

OK:人間だから忘れるのは仕方ない。

忘れてしまうという、不可避な状況を認めてあげましょう。同じことでも何度も繰り返すことで理解が深まっていることを評価してあげることが大切です。

NG:どうして早くできないの？丁寧に見直しなさい！

OK:■分でこのページを仕上げよう。途中式も～のように書こうね。

具体的な時間と、実施するページ数を指示してあげると目安が分かって机に向かいやすくなります。そしていざ始めてみると、思っていたよりも集中できたり、楽しかったりということもありますよね。これを「**作業興奮**」といいます。どうしてもやる気になれない時は「▲ページを開くだけでOK」というように、作業ハードルを徹底的に下げることができるところからはじめ、できたらほめてあげてください。一つずつクリアしていくことに達成感を感じさせてください。

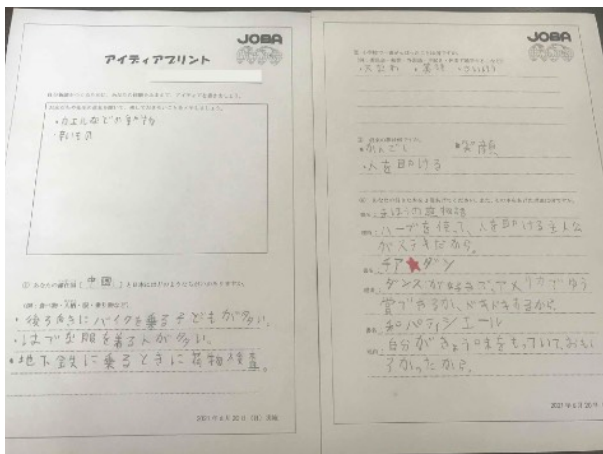
活動報告・8月イベント

自分新聞を作りました

JOBAの海外チーム初の合同イベント

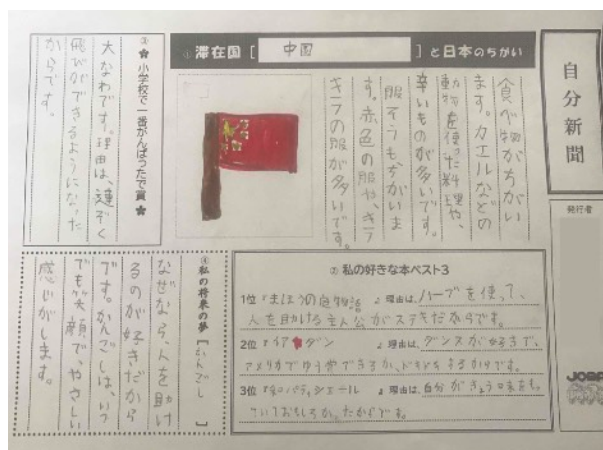
JOBAのアジアにある校舎をご存知でしょうか？中国（蘇州、上海）、韓国（ソウル）、ベトナム（ハノイ）これら5校がzoomを介して集合し、「自分新聞」を作成しました。

小学生を対象としている企画でありながら、来たる受験を意識したコンセプト。「滞在国と日本の違いは何か」「将来の夢は何か」といった、面接での定番の質問についてアイデアを出し合い、記事を書く前の下ごしらえから入念に行いました。



当日は初対面の子どもたち同士で、会話が盛り上がるか不安に思っていましたがおんな大人たちの心配をよそにどんどん出てくるアイデアの数々。

蘇州校を代表して参加してくれたアイデアプリントと新聞を掲載させていただきます。



青文字+下線の部分にカーソルを合わせてください

リンクにアクセス可能です

オンラインでもいろんなイベントを開催しています。

1学期定期考査の結果

1位連発の素晴らしい結果に♪

5月から少しずつ準備をして臨んだ、蘇州日本人学校の1学期定期考査の結果が出そろいました。

独自調査ではありますが、主要5教科（国数英社理）において、

中学1年生 1位4つ

中学3年生 1位4つ

という輝かしい結果となりました！



オンライン授業ながら、対面授業のライバルたちに引けを取らないこの結果は本当に素晴らしいですね。次に控える、2学期定期考査は1学期以上に難易度が上がります。今回の反省点をしっかりと胸に刻み、さらに高みを目指して自分を鼓舞してくださいね。期待しています！

卒業生とトーク

- 卒トーク -

先輩から‘受験のリアル’を聞いてみました

受験生が困っていることは受験経験者に聞くのが一番親近感が湧いていいのではないかな。そんな発想から、蘇州校を卒業した先輩から直接受験のイロハを聞きちゃおう！という企画、その名も〈卒トーク〉を行いました。

去年、見事第一志望に合格したY先輩と中学3年生がzoomで対談しました。開始直後はお互いに緊張しながらも率直な疑問が交わされました。

トークの一部を公開します

中3▶勉強のモチベーションを高めるにはどうすればいいですか？ Y▶勉強する場所を工夫しました。学校や図書館ですることが多かったです。

中3▶高校の勉強は難しいですか？ Y▶はい。選ぶコースにもよりますが、数学は中学生の頃とは比にならないくらいです。今から全力で頑張ってください。

Y先輩は兼ねてから夢だった、留学（カナダ・バンクーバー）直前とのこと。やりたいことにまっすぐな人の発言は魅力的で説得力がありました。忙しいところ快く引き受けてくれたY先輩に感謝です。ありがとうございました。

イチロー選手から学ぶ 勉強に納得して向き合いたくなることば

コラム 自分の武器を活かさなければ

平凡になってしまう

8/2から夏期講習会が始まりますね。気合十分で
しょうか？



イチロー選手はいわずと知れた野球界のレジェンドで
あり、今回紹介する言葉や考え方は、

野球（スポーツ）だけでなく、何かを頑張っている人、自分を変えたいと思っているすべての人たちに刺さるもの

であると思いましたのでご紹介させていただきます。
どれか1つでも刺さるものがあれば、メモ帳に書き残して
机の前に貼っておきましょう。踏ん張りたいと思った
その時。あなたの心の支えになるかもしれません。

努力せずに何かできるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうじゃない。
努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうだと思う。
人が僕のことを、努力もせずに打てるんだと思うなら、それは間違いです。

結果が出ないとき、どういう自分でいられるか。
決してあきらめない姿勢が何かを生み出すきっかけをつくる。

成績は出ているから今の自分でいいんだ、という
評価を自分でしてしまっていたら、今の自分はない。

準備というのは、言い訳の材料となり得るものを
排除していく、そのために考え得るすべてのことを
こなしていく。

今自分がやっていることが好きであるかどうか。
それさえあれば自分を磨こうとするし、常に前に
進もうとする自分がいるはず。

夢を掴むことというのは一気には出来ません。
小さなことを積み重ねることによっていつの日か信じら
れないような力を出せるようになっていきます。

しっかりと準備もしていないのに、目標を語る資
格はない。

知っておきたい入試用語

アクティブラーニング

(主体的・対話的で深い学び) とは？

- ❖ 教員から一方向的な講義ではなく、生徒たちが主体となる学習法。

→従来の「受動的な授業・学習」とは真逆の
「積極的・能動的な授業・学習」のこと

- ❖ 体験学習や教室でのグループディスカッション、ディベート、グループワークなど、仲間と深く考えながら課題を解決したり、新しい発想や発見を得たりすると同時に、学習内容の定着も図る。

- ★ 学修者（学習者）が能動的に学ぶことによって、**認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験**などの汎用的能力の向上や育成を目指す。

